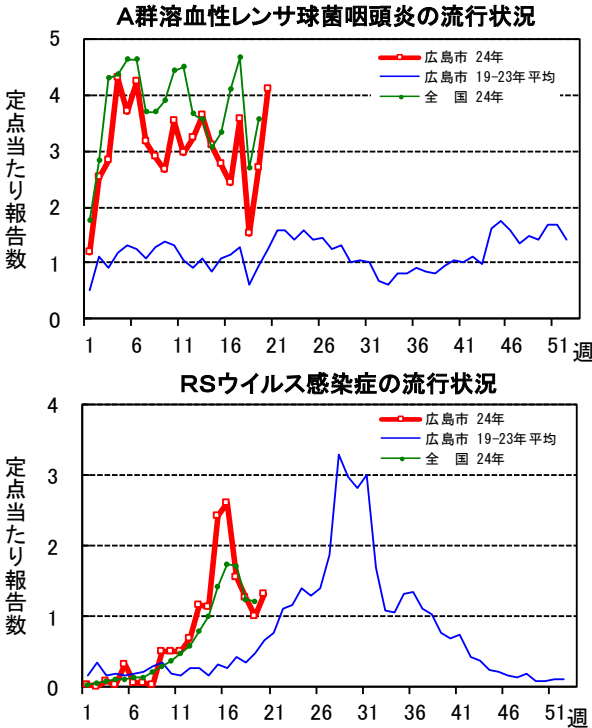


■コメント

- 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり4.09人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。咳エチケットの励行や手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。
- 2 RSウイルス感染症
定点当たり1.32人の報告がありました。減少傾向が続いていましたが、前週と比べて増加しました。RSウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染です。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、特に注意が必要です。また、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。
- 3 手足口病
定点当たり2.32人の報告があり、多い状況が続いています。(次ページ参照)
- 4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
定点当たり1.71人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	4	0.11	0.98		小児科	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.14	
	新型コロナ(COVID-19)	60	1.71				流行性耳下腺炎	2	0.09	0.08	
小児科	RSウイルス感染症	29	1.32	0.66		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	12	0.55	0.49			流行性角結膜炎	10	1.25	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	90	4.09	1.25		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	137	6.23	5.27			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	3	0.14	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	51	2.32	0.27			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	2	0.09	0.31							

急増減

増減

微増減

横ばい

前週と比較しておおむね1:2以上の増減

前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	38	60歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・2人
5	急性脳炎	1	5	10歳未満
5	梅毒	4	51	20歳代、30歳代、50歳代、80歳代

■ 定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			インフルエンザ (COVID-19)	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第16週	33	60	55	12	51	123	1	12	-	8	1	-	-	15	-	-	-	-	-
		第17週	13	68	33	7	75	157	7	15	-	7	2	-	1	10	-	-	-	-	-
		第18週	6	55	28	8	33	86	2	21	-	5	-	-	-	19	-	-	-	-	-
		第19週	4	51	22	10	59	97	9	49	-	8	2	1	-	14	-	-	4	-	1
		第20週	4	60	29	12	90	137	3	51	-	2	2	2	-	10	-	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第16週	0.97	1.76	2.62	0.57	2.43	5.86	0.05	0.57	-	0.38	0.05	-	-	1.88	-	-	-	-	-
		第17週	0.38	2.00	1.57	0.33	3.57	7.48	0.33	0.71	-	0.33	0.10	-	0.13	1.25	-	-	-	-	-
		第18週	0.18	1.62	1.27	0.36	1.50	3.91	0.09	0.95	-	0.23	-	-	-	2.38	-	-	-	-	-
		第19週	0.11	1.46	1.00	0.45	2.68	4.41	0.41	2.23	-	0.36	0.09	0.05	-	1.75	-	-	0.57	-	0.14
		第20週	0.11	1.71	1.32	0.55	4.09	6.23	0.14	2.32	-	0.09	0.09	0.09	-	1.25	-	-	-	-	-
	全国	第18週	0.45	2.28	1.26	0.50	2.69	2.60	0.11	0.61	0.02	0.22	0.08	0.04	0.01	0.44	0.02	0.01	0.14	-	0.01
		第19週	0.34	2.76	1.22	0.68	3.54	3.64	0.23	0.90	0.03	0.31	0.11	0.05	0.03	0.75	0.02	0.02	0.19	-	0.01

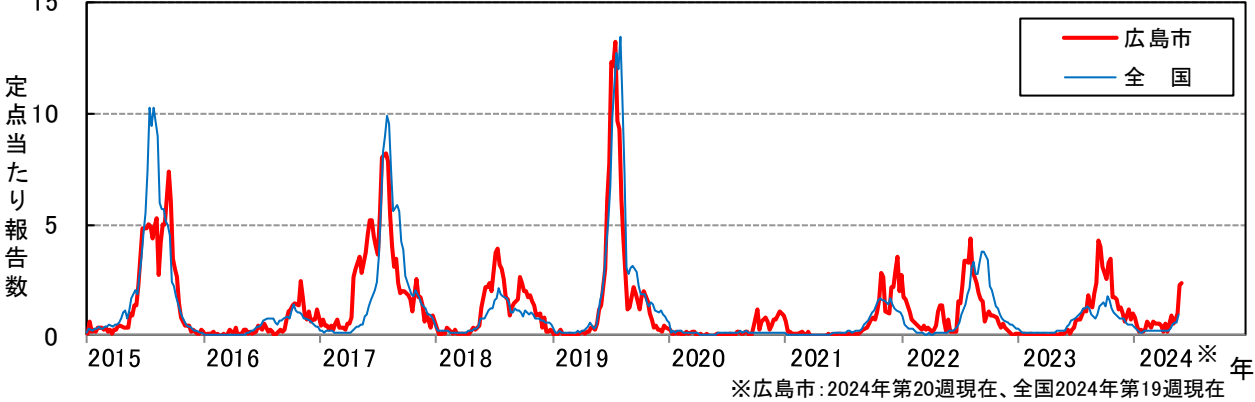
■ STD(性感染症)・基幹定点報告状況（月報対象）の推移

			STD(性感染症) 定点												基幹定点								
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
報告数	広島市	3月	34	25	9	9	7	2	4	4	0	7	7	0	19	10	9	0	0	0	0	0	0
		4月	30	23	7	12	11	1	12	11	1	10	10	0	13	9	4	1	0	1	0	0	0
定点 当たり	広島市	3月	4.25	3.13	1.13	1.13	0.88	0.25	0.50	0.50	0.00	0.88	0.88	0.00	2.71	1.43	1.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		4月	3.75	2.88	0.88	1.50	1.38	0.13	1.50	1.38	0.13	1.25	1.25	0.00	1.86	1.29	0.57	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00
	全国	4月	2.50	1.25	1.25	0.88	0.33	0.54	0.58	0.37	0.20	0.70	0.54	0.16	2.65	1.67	0.97	0.19	0.11	0.08	0.01	0.00	0.00

定点数 STD定点 8 基幹定点 7

【参考】広島市における手足口病の流行状況（過去10年間）

手足口病の流行状況(2015～2024年)



※広島市：2024年第20週現在、全国2024年第19週現在

手足口病は、乳幼児を中心に流行するウイルス性の感染症です。2019年までは夏季に流行し、1年おきに大きな流行となる傾向がありました。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた2020年の報告数は例年を大幅に下回りました。2021年は秋から冬に流行し従来とは異なる動向を示しましたが、2022年、2023年は6月から増加傾向が続き、夏にピークを迎えました。今年度は、昨年より早い4月中旬から増加が続いています。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。特に、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、感染が広がりやすく注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp